

URAシステムの現状と課題

— 岡山大学の状況 —



OKAYAMA UNIV.

岡山大学 理事(研究担当)・副学長

山本 進一

平成27年3月14日(土)12:00~17:00 政策研究大学院大学望海樓ホール
「大学の研究経営システムの改革に向けて～URAへの期待とURAシステムの課題～」

URA: **U**niversity **R**esearch **A**dministrator

- ・平成24年9月、岡山大学の自主財源によって、URAの運用を開始（4名を雇用）。
現在は、男性4名女性3名の合計7名のURAを配置（うち中国人1名、フランス1名）。
1名は研究担当副理事を兼務
全員、博士号取得者
- ・どの学部、研究科、センター、事務にも属さない組織、かつ**第3の職種***として組織。
「企画業務型裁量労働制」を採用
- ・大学の研究方針・研究系運営に強く関与する執行部の研究系ブレーン組織
- ・トップ研究者の戦略的支援などを実施
- ・非常に大きな権限が与えられ、学長の直接指揮のもと、研究担当理事と行動する
- ・わが国のURA運用の将来的指標となるようなURAとしての運用を目指す

*事務職員、教員でもない職種・・・職務規定、号俸もすべてURA独自のものを策定し、運用している

はじめに:岡山大学リサーチ・アドミニストレーター(URA)



岡山大学
OKAYAMA UNIV.



はじめに:岡山大学URA 5つのミッション



- ① **リサーチ・ユニバーシティ(研究大学)岡山大学の実現**
国際的学術成果の提示ができるリサーチ・ユニバーシティとしての岡山大学の地位確立。
- ② **大型プロジェクト研究グランドデザイン構築支援**
社会が注目する課題解決に向けた岡山大学主導の大型プロジェクト研究のグランドデザイン構築(=研究戦略構築)。
- ③ **他機関連携型大型プロジェクト研究起動**
他大学や研究機関との広域連携による大型プロジェクト研究体制を軌動。
- ④ **国家レベル大型プロジェクト研究の提案**
国家政策方針に合致した大型プロジェクト研究テーマを選定し、岡山大学内外の連携体制を確立した後に関係省庁へ提案。
- ⑤ **URA人材の育成・確保**
岡山大学におけるURAとしてふさわしい人材を育成し、長期的視点から人材の発掘。

はじめに:岡山大学URA 8つの役割



研究環境の改善と改革の**ブレイン**

経営陣に対して、研究環境の改善と改革の起案・遂行にあたるブレインとしての役割



研究者と経営陣の**仲介役**

研究者の意見・諸案を広く集約し、経営陣に上申する、経営者と研究者を仲介する役割



社会や研究現場における経営陣の**代理人**

社会や研究現場に経営陣の研究方針(リサーチ・ユニバーシティ:岡山大学)の伝達と定着を図る代理人としての役割



研究者と研究者を繋げ支える**Servant Leader**

支配型リーダーではなく、全体最適化の視点から個々の研究者に奉仕・調整しながら事案をとりまとめる調整型リーダー(Servant Leader)としての役割



社会と研究者を繋げる橋渡し役

社会のニーズと研究者の志向を把握し、双方にとって最もインパクトのある成果が得られる仕組みを構築する役割



新市場創出を大学から行うプロモーター

新たな市場創出への道筋を考え、大学として発信する学術シーズを次のプレーヤー(企業等)にシームレスに引き渡すプロモーターとしての役割



URA

ファンディングエージェンシーとの情報収集役

ファンディングエージェンシーと深く関わり、新規助成・研究計画などの情報をいち早く獲得する役割



社会に通用する研究人材の育成役

社会・教育・研究全般を見通せるジュエネラリストとしての研究人材を育成する役割

はじめに:岡山大学研究推進本部との違い

